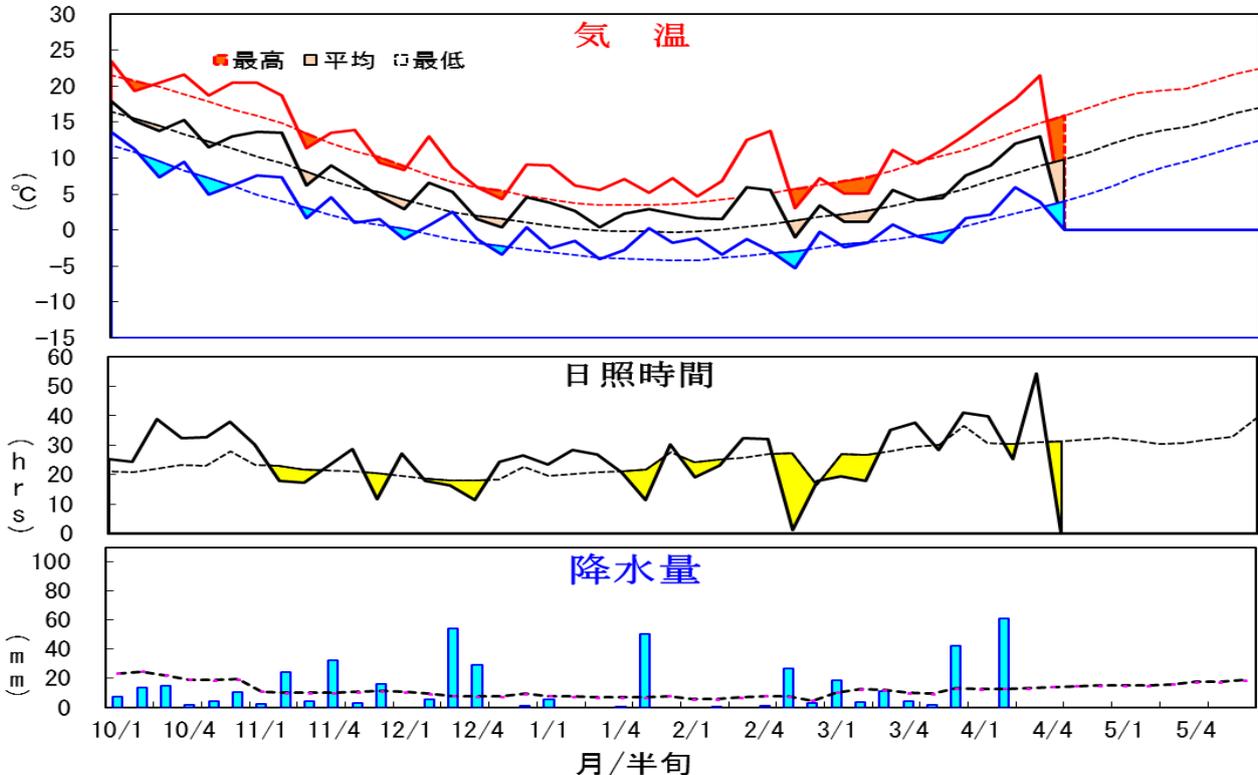


麦作情報第5号

令和6年 4月22日：JA全農みやぎ

大麦の出穂は前年より更に早まる見込み 早めの防除・収穫準備を！

1 これまでの気象経過



2 東北地方の1か月予報【4月20日～5月19日までの天候見通し 気象庁HPより】

- ・天気は数日の周期で変わるが、平年に比べ晴れの日が少ない。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込み。
- ・気温は、高い確率 80%，平年並み若しくは低い確率 10%。
- ・降水量は、多い若しくは少ない確率 30%，平年並みの確率 40%。
- ・日照時間は、多い確率 20%，平年並み若しくは少ない確率 40%。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	東北地方	向こう1か月 04/20～05/19	10 (低) 10 (平) 80 (高)
		1週目 04/20～04/26	10 (低) 20 (平) 70 (高)
		2週目 04/27～05/03	10 (低) 10 (平) 80 (高)
		3～4週目 05/04～05/17	10 (低) 30 (平) 60 (高)
降水量	東北日本海側	向こう1か月 04/20～05/19	40 (低) 30 (平) 30 (高)
	東北太平洋側	向こう1か月 04/20～05/19	30 (低) 40 (平) 30 (高)
日照時間	東北地方	向こう1か月 04/20～05/19	40 (低) 40 (平) 20 (高)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3 生育状況

(1) 古川農業試験場内 作況試験ほ場（4月10日調査）

・草丈及び葉数は、どの品種も平年を上回っているが、茎数は平年並み～やや下回っている。

	品種・区分	草丈			茎数			葉数		
		本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
大麦	シュンライ 中旬	33.1	76	109	577	79	80	11.8	0.6	2.0
	同 下旬	30.1	81	112	627	92	83	10.8	0.4	2.1
	ミノリムギ中旬	34.8	76	118	611	75	72	11.6	0.0	1.6
	同 下旬	32.8	90	128	761	102	98	10.4	0.1	1.5
小麦	シラネコムギ中旬	32.2	92	114	543	74	74	10.6	0.2	1.5
	同 下旬	31.8	84	123	801	105	93	9.5	-0.3	1.2
	夏黄金 中旬	31.5	90	122	589	79	74	10.5	0.7	1.4
	同 下旬	28.1	84	120	934	122	114	9.4	0.3	1.4

注1) 中旬は10月19日, 下旬は10月31日に播種。

注2) 中旬播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年の平均値。

注3) 下旬播種区は平成29年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

・幼穂長は、大麦及び小麦とも平年より長い。**大麦の幼穂長は前年よりも長く、生育ステージはかなり早まっている。**

	品種・区分	幼穂長			茎立期			減数分裂期		
		本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)	本年 (月日)	前年 (月日)	平年 (月日)	本年 (月日)	前年 (月日)	平年 (月日)
大麦	シュンライ 中旬	51.6	16.2	36.1	3/21	3/20	3/28	4/4	4/5	4/15
	同 下旬	33.4	10.7	23.2	3/28	3/23	4/3	4/8	4/13	4/18
	ミノリムギ中旬	29.6	0.6	17.4	3/24	3/21	3/29	4/10	4/11	4/19
	同 下旬	25.6	8.2	17.6	3/29	3/24	4/4	-	4/16	4/21
小麦	シラネコムギ中旬	9.9	-3.5	5.3	4/2	3/23	4/4	-	4/18	4/26
	同 下旬	7.8	-2.3	3.2	4/3	3/26	4/7	-	4/21	4/27
	夏黄金 中旬	12.2	-2.4	6.5	4/3	3/26	4/5	-	4/18	4/26
	同 下旬	8.7	-1.2	3.8	4/3	3/30	4/9	-	4/21	4/27

注1) 中旬播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年の平均値。

注2) 下旬播種区は平成29年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注3) 茎立期: 主稈長が20mmに達した日。

注4) 減数分裂期: 幼穂長が30mmに達した日。



【作況試験 シュンライ 10月19日播種】



【作況試験 シュンライ 10月31日播種】



【作況試験 ミノリムギ 10月19日播種】



【作況試験 ミノリムギ 10月31日播種】



【作況試験 シラネコムギ 10月19日播種】



【作況試験 シラネコムギ 10月31日播種】



【作況試験 夏黄金 10月19日播種】



【作況試験 夏黄金 10月31日播種】

・ 出穂期は、大麦では平年より9～11日、小麦では平年より4～7日早い見込みである。

	品種・区分	減数分裂期			出穂期			開花期		
		本年 (月日)	前年 (月日)	平年 (月日)	本年 (月日)	前年 (月日)	平年 (月日)	本年 (月日)	前年 (月日)	平年 (月日)
大麦	シュンライ 中旬	4/4	4/5	4/15	4/15	4/18	4/25	4/25	4/25	5/2
	同 下旬	4/8	4/13	4/18	4/19	4/22	4/29	4/27	4/30	5/7
	ミノリムギ中旬	4/10	4/11	4/19	4/20	4/22	4/29	4/28	4/27	5/5
	同 下旬	4/12	4/16	4/21	4/22	4/26	5/3	4/30	5/2	5/9
小麦	シラネコムギ中旬	4/21	4/18	4/26	5/1	4/27	5/5	5/13	5/9	5/14
	同 下旬	4/23	4/21	4/27	5/3	4/30	5/7	5/14	5/12	5/17
	夏黄金 中旬	4/20	4/18	4/29	4/29	4/27	5/6	5/11	5/9	5/14
	同 下旬	4/22	4/21	4/27	5/1	4/30	5/7	5/13	5/11	5/16

注1) 中旬播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年の平均値。

注2) 下旬播種区は平成29年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注3) 減数分裂期: 幼穂長が30mmに達した日。

注4) 出穂期: 全茎の40～50%が出穂した日。

注5) 開花期: 全穂数の40～50%が開花した日。

注6) 予測値は予測シートver4.0を用いた値。

注7) 「シュンライ」と「ミノリムギ」の中旬播種区の減数分裂期は実測値。

4 今後の技術対策

(1) 排水対策

- ・**麦類は節間伸長期から登熟期にかけては、特に湿害に弱い。**粒の充実不良により千粒重が軽くなり、収量・品質が低下する。また、水田の代かき等により隣接ほ場から横浸透によって水が浸入するので、明渠等の排水対策を徹底する。

(2) 追肥（小麦のみ）

- ・**追肥の目安については、下表を参照のこと。なお、大麦は、追肥の適期を過ぎている。**

追肥の種類 (生育ステージ)		減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8～9割が出穂)
目的		一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
時期		4月下旬～5月上旬	5月中旬
小麦	10aあたり 施用量	窒素成分4～5kg (硫安20～25kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg) ※「夏黄金」は2倍

(3) 赤かび病の防除

- ・赤かび病は、開花期前後に降雨が続く、かつ気温が20～27℃程度の場合に発生が多くなる。
- ・防除適期は、1回目が開花始期～開花期、2回目がその7～10日後で、降雨が続く場合は追加防除を検討する。
- ・**昨年、国内産小麦の一部から食品衛生法の基準値を超える「カビ毒」が検出される事案があったので、防除適期を逸しないこと。**
- ・「夏黄金」の防除は3回を基本とし、3回目は2回目の7～10日後に実施する。
- ・**大麦の生育は、生育が早かった前年よりも2～3日進んでいるので、早めに防除の計画を立てておくこと。**

(4) 収穫の準備

- ・成熟期の判断基準は、「茎葉及び穂首部が黄化し、粒はほぼロウぐらいの固さに達した日」とされており、一般的には大麦では出穂後約40日～45日、小麦では45日～50日である。
- ・収穫適期は、成熟期から約3～4日後で、穀粒水分30%以下が望ましいとされているが、降雨が見込まれる場合には、作業を早める必要がある。
- ・県中部や県南部等の生育の進んでいる大麦では、6月1日～5日頃には成熟期に達すると見込まれる。
- ・**出穂期が早まっていることから、成熟期・収穫適期も早まると思われるので、収穫機械・乾燥機等の整備は、早めに済ませておく。**